

# 健康への

メッセージ

シリーズ⑥

## 家庭で急病人が出た時は：

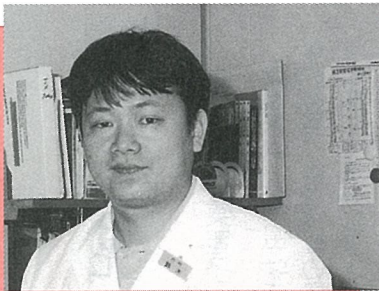
光町のみなさんこんにちは。今回は家庭で急病の患者さんが出た時にどう対処したらよいかというお話をしたいと思います。

人間の生命にとって最も緊急を要する疾患は呼吸と循環（血液の循環）の障害であると思います。その中でも窒息は最も迅速な処置が必要なものの一つです。これからの季節はお餅を食べることが多いと思います。特にお年寄りはいくらでもご注意ください。もし窒息のような症状がみられたらまず背中をドンと強く叩いてみてください。手でかき出してみるのもよいですが、奥に押し込まないようにご注意ください。掃除機で吸い込む方法が必ずうまくいくとは限りませんが、何しろ緊急事態ですから試してみてくださいと思います。喘息のある方は強い発作が起ると窒息と同じ状態になることがあります。この場合も自宅で改善させることは難しいですから、できるだけ早く受診してください。（こういう場合は躊躇なく救急車をご利用ください。）

小さいお子さんもヒートアップなどが気管に入ったります。咳込んだり、息苦しきなどがみられたら要注意です。これは自宅ではとれませんので、すぐ医療機関へ。

またお子さんが犬の鳴き声のような変な咳をしていたらご注意ください。喉頭炎という呼吸状態が急激に悪くなる病気かも知れませんが、夜間であっても早めに医療機関を受診してください。

東陽病院 鈴木健士 内科医師



ください。呼吸が苦しいというのは大変つらいものです。夜間であっても結構ですからまずお電話をください。

次に最もこわい病気の一つである心臓病です。一番の代表格は心筋梗塞でしょう。この病気は心臓に栄養を送っている血管が詰まって血液が届かなくなり、心臓の壁の一部が死んでしまう病気です。血管が細くなつて十分な血液が届かない状態が狭心症です。症状は胸からみぞおちのあたりを締めつけられる様な痛みが多いですが、人によって背中あたりの痛みを訴える方もいるようです。他に冷や汗、呼吸困難などを伴うことがあります。一般には病気が起してもすぐに心臓が止まってしまわずにはありますが、重症の方では1時間以内に死に至ることもあります。

他に、胸からお腹の大きな動脈にこぶがでる大動脈瘤という病気があります。これが完全に破裂してしまつと、あつという間に死んでしまいます。しかしジワジワと血管の壁が破れかけるような状態で痛みを出すことがあります。この場合には胸から肩や背中に激痛が走るといわれます。

このような症状がみられたらまず安静にして、それで数分しておさまらなければできるだけ早く医療機関を受診してください。また心臓の機能が落ちてきている時は、仰向けに寝るより何かに寄りかかって座っている状態の方が楽ですので試してみてくださいと思います。次回は脳卒中の患者についての緊急対処法をお話したいと思います。

※東陽病院的の休日当番日

12月13日(日)・31日(木) 午前9時～午後5時  
医師2名が待機・来院の際は電話を ☎ ④1335

### クリスマス映画会

## 『サンタクロース』

クリスマス・イブの夜  
サンタが屋根から  
落ちてきた!?



期日 12月20日(日)  
上映時間

1回目 午前10時30分  
2回目 午後2時

定員 各100名

入場 整理券（無料）を12月5日(土)から  
図書館カウンターで配布します。



ほんの

=町立図書館=  
☎ ④3311

### 12月の休館日

12月7日・14日・21日・23日・28日～31日  
新年は1月5日(火)から開館



ウォルト・ディズニーが贈る、いちばん面白いクリスマス映画

ある日突然  
サンタになったら、どうする?